

令和7年度新吉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

担当エリアの東側には戸建てが多く、マンションが点在します。西側には起伏が激しい丘陵地で、農地や樹林地が残っております。早淵川と鶴見川に面しており、河川氾濫の危険が高い地域であり、住民一人一人が風水害に備える必要があります。戸建て住宅地では、居住歴が長い人が多く、一人暮らし高齢者が増えており、支援が必要な高齢者が増えています。一方で、若い世代の転入が増加傾向にあり、地域との繋がりがつくりや未来を担う人材の育成が必要です。担当エリアには新吉田連合町内会と新吉田あすなろ連合町内会の2地区があり、65歳以上の高齢者人口は、新吉田地区約5,000人、新吉田あすなろ地区は約1,800人で担当エリアの高齢化率は23.59%（後期高齢者は14.12%）で、市の高齢化率よりは低いものの、区内では2番目の高齢化率です。新吉田連合町内会は町丁別みると15.8%～29.5%と高齢化率に幅があります。新吉田あすなろ連合町内会では、この間の新吉田東2丁目の高齢化率の上昇幅から急速に高齢化進んでいることが伺え、相談件数が増加している。これまで積極的に地域で活動されていた高齢者からの認知症、フレイル相談件数の増加を目の当たりにして、元気な高齢者が元気で暮らし続けられるためのフレイル予防（介護予防）に係る取り組みが引き続き必要と考えます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	地域ケアプラザ機能を地域へ広く周知します。 様々な年代の方が参加できる自主企画事業の開催、様々な地域の活動や会議等積極的に参加、また、地域の商店や医療機関等にチラシの掲示を依頼して、地域の身近な相談場所としての地域ケアプラザ機能を積極的に周知します。
☐	☒	地域に潜在している課題を把握して、地域の方々と共に課題解決に取り組みます。 地域の様々な活動会議等に積極的に参加して、その課題を把握するとともに、課題解決に向けて、地域の力を活用して行きます。地域で支え合う取り組みの継続、新たな仕組みづくりを支援します。また、個別の課題解決支援を積み重ね5職種間でその情報共有、さらに介護保険事業との定期的に情報共有を通して、潜在化した地域課題の抽出、その課題解決に向けて一体的に取り組みます。
☐	☒	総合相談窓口体制は輪番制とし、迅速な相談対応に努めます。 担当者が不在することなく相談者が相談しやすい環境を整えます。相談内容に応じた専門職種間の連携を図り迅速に適正な支援に取り組むことで、地域からの信頼を重ねて参ります。また、支援が必要な方高齢者等が地域で孤立することなく早期に発見し必要な支援が迅速に届けられるよう、地域の方を巻き込んだ地域ネットワーク構築
☒	☒	チームオレンジの周知に取り組み、地域住民が認知症について正しい理解が広がる。 認知症サポーター養成講座の開催やキャラバンメイト育成支援します。また、地域の徘徊高齢者支援ネットワーク「さがしてネット」の事務局を担い、担当2地区の合同模擬訓練等を通して、認知症の理解を啓発し、地域住民による共助の取り組みを支援します。また、様々な地区活動に参加、自主企画事業を通して、チームオレンジの周知に
☐	☒	元気な高齢者が元気に暮らし続けられるためにフレイル予防講座を開催してその理解が広がる。 委託事業と介護保険事業が一体となり各々の専門性を活かした 高齢者が参加できるボランティア活動等、人と繋がる場の 創出、継続支援、担い手の育成、フレイル予防の啓発にケアプラザ全体で取り組みます。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

日頃ケアプラザとはあまりかわりがない年代層の方に、丘の上音楽会等の地域向け自主事業を通してケアプラザ機能を知っていただくことができました。各連合町内会会合に毎回参加してケアプラザの事業報告して、ご意見を伺うことができました。単位町内会の会合へ参加は、包括職員体制が安定しない中、厳しい現状があり実施できませんでした。しかし、地域の様々な地区活動には5職種が連携して積極的に参加しました。今年度はあらたに地区の課題を共有、課題解決に向けて地域で検討する場（新吉田あすなろ地区社協事務局会議やスペースあすなろ（仮称）等）に参加するという大きな収穫がありました。担当2地区によるさがしてネット模擬訓練、地域が開催した認知症サポーター養成講座やケアプラザの自主事業、さらに地区民生児童協議会等地区活動の場でチームオレンジのチラシ（新吉田版500枚作り）を、配布して周知することができました。10月に開催した共生まつりでは、認知症当事者の活躍の場として、Sカフェを実施して約100人の地域の方々からコーヒーの注文があり盛況でした。地域での認知度が少しずつ上がっている手ごたえを感じる出張相談会は、これまでに2回開催して、当日の来所相談が2件ありました。いずれも要介護認定申請され、サービス利用に繋がりました。また、元気な高齢者が元気で暮らし続けるためにケアプラザ全体で取り組んでいるフレイル予防サロンは、11月の開催で103回目となり、9年目に入りました。開催当初からの参加者2名が継続して通われています。毎回10人程度の方が参加され、参加者同士の声掛け、助け合いを感じます。其々の具体的な取り組みが少しずつではあるが成果があったと振り返る。

☐ 区からのコメント

地域の実情に即し、接点の少ない年代層へのアプローチや認知症施策（チームオレンジ）・フレイル予防を多職種で一体的に推進されたこと心強く感じました。特に、新たな協議の場（新吉田あすなろ地区社協事務局会議、スペースあすなろ（仮称））への継続参加により、地区課題の共有と解決に向けた協働の基盤づくりが進んだことは大きな成果です。また、ひとつプラン港北の5期計画 地区別計画の策定に関して、新吉田地域ケアプラザの職員のみならずと一緒に取り組むことが出来ました。令和8年度は、策定した計画を「推進」していくこととなりますので、引き続き一緒に取り組んでいきましょう。区としても、関係機関との連携や情報発信など、必要な支援を続けてまいります。

令和7年度新吉田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	総合相談窓口等ケアプラザ業務は、担当職員一人一人の言動を含め、利用者や事業者等から不信を招くことがないよう、公正・中立性を意識を高めた対応をします。 ・介護予防ケアプラン作成委託先の偏りがないよう努めます。 ・ケアマネジャー選定支援の際には複数の事業所を提示して選択肢があることを相談者にお伝えしたうえで、相談者が選定できるよう支援します。 ・居宅介護支援では、利用者の選択に基づき、提供される居宅サービスが特定の事業所に偏りことなく、適切なサービスが多様な事業所から総合的に提供されるように努めます。 ・部門別アンケートを年1回実施して、その業務の公正・中立性を振り返る機会を持ちます。	・委託業者による建物・設備の定期的な保守点検、担当職員による日々の点検により、異常の早期発見し、適切な修繕を実施します。安全・安心な施設利用、サービス提供について、職員一人一人がその意識を高めるため、定期的な会議や日々のミーティング等でひやりはっと等の振り返りする時間を持ちます。 ・ドライブレコーダーの点数化機能を活用とした自己点検等、安全運転意識の向上に努めます。 ・事故発生時には、迅速に適切な事故対応するとともに、必要関係機関等に速やかに報告します。 ・所長は個人情報管理者を担い、法令、法人の個人情報管理規定に基づいた、適切な個人情報管理に関する取り組みを推進します。 ・個人情報の取り扱いについて、職員一人一人が忙しくても、その取扱いルールを守ることが、漏洩防止につながるという意識を高めます。 ・年に1回、個人情報の取り扱いに係る研修及びチェックシートを使った振り返りを実施します。 ・I種備品等備品管理を適切に行います。年度末に棚卸を実施予定。
実績	・総合相談窓口等ケアプラザ業務は、担当職員一人一人の言動を含め、利用者や事業者等から不信を招くことがないよう、公正・中立性を意識を高めた対応を実施しました。 ・ケアマネジャー選定支援の際にはハートページを活用して複数の事業所を提示して選択肢があることを相談者にお伝えしました。 ・居宅介護支援は特定事業所集中減算の対象にはならず、適切なサービスが多様な事業所から提供しました。 ・部門別のアンケートを10月に実施して、その結果は概ね良好であったと振り返りをしました。	・送迎車両のみならず、相談職が使用する車両3台にもドライブレコーダーを装着し、自身の運転が点数化されて見えるようになり、安全運転意識が高まりました。 ・車両を送迎する際のアルコールチェックを実施・記録しました。 ・職員会議では郵送手順、FAX送信手順のダブルチェックについて、形骸化する事無いよう職員一人一人がその意識を高めるよう注意喚起しました。 ・個人情報保護に係る研修およびチェックシートを実施しました。 ・安全管理措置報告書を作成し、区役所に提出し、それをもとに個人情報の漏洩防止の意識を高めました。が、Googleフォームを利用した自主事業への参加申し込みで、その設定方法の理解不足により個人情報漏洩事故が1件(3人)発生があり、今後の対策について検討しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	その方が持つ能力や思い等、その方の特性を踏まえた生活機能向上を目標としたケアマネジメントを実施し、地域のインフォーマルサービス等多様なサービスの中からご自身で選択できるよう支援します。	・その方が可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスが適切に利用できるよう、ケアプランを作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保できるよう、連絡調整します。 ・地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを自覚し、丘の上倶楽部等でのリーダーシップを積極的に担い、地域の質の高いケアマネジメントを目指し、またその方が住む地域の社会資源開発に資する取り組みをして参ります。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合の、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。	【その他料金】・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合の、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。
職員体制	“管理者1名(社会福祉士) 保健師職1名 主任 介護支援専門員 1名 介護支援専門員(非常勤1名)”	管理者1名(主任介護支援専門員) 介護支援専門員名4名(うち主任介護支援専門員4名)
契約者数	210人	168人

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	・ゆったりとした空間の中でご自身で楽しみが見つけれられるよう支援します。 ・日常生活動作の一つ一つがリハビリと捉え、残された力で生活の喜びと自信を感じられるよう支援します。 ・職員やご利用者同士で安心して過ごせる社会交流の場を提供します。 ・個別ニーズに柔軟に対応した適切サービス提供に努めます。 ・食前の口腔体操、食後の口腔ケアの励行、お食事の形態への配慮等に対応し、誤嚥性肺炎の発症防止に努めます。 ・介護者が安心できる介護者負担軽減に資するサービス提供に努めます。		
実施体制	【実施日数】 週6日(日曜日/年末年始休業) 【提供時間】 介護9:00～16:00(7時間) 予防10:00～15:00(5時間) 【定員】 35名(一体型)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 昼食代:750円(おやつ代100円含む)	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者1名 生活相談員3名 看護職員(機能訓練員兼務)3名 介護職員16名 送迎職員8名 事務職員等2名		
契約者数等	【延べ利用者数】 7553人 【契約者数】 75人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「新吉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	22,107,320	461,700	22,569,020	21,323,215	1,245,805	横浜市より
内 受領額	22,107,320	461,700	22,569,020	22,569,020	0	
内 戻入額				△ 1,245,805	1,245,805	
自主事業収入	30,000		30,000	33,850	△ 3,850	さわやかクラブ参加費
雑入	0	0	0	4,170	△ 4,170	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料			0	0	0	
内 その他			0	4,170	△ 4,170	コピー代
その他			0		0	
収入合計	22,137,320	461,700	22,599,020	21,361,235	1,237,785	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,648,000	190,700	13,838,700	9,107,526	4,731,174	法人本部経費が含まれています
内 本俸手当	12,328,249	190,700	12,518,949	7,810,394	4,708,555	給与、手当、賞与等
内 社会保険料	1,000,357		1,000,357	967,714	32,643	健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料等
内 健康診断費	25,000		25,000	25,390	△ 390	
内 勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	8,325	1,675	ハマフレンド会費
内 退職給付引当金繰入額	95,000		95,000	97,984	△ 2,984	
内 その他	189,394		189,394	197,719	△ 8,325	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,998,800	550,000	2,548,800	2,866,109	△ 317,309	
内 旅費	10,000		10,000	7,580	2,420	市内出張交通費
内 消耗品費	200,000		200,000	70,435	129,565	事務用品、消耗品等
内 会議聘い費	10,000		10,000	4,075	5,925	運営協議会費等
内 印刷製本費			0	0	0	
内 通信費	400,000		400,000	374,946	25,054	電話料金、携帯電話料金、FAX、後納郵便代等
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
内 内 その他			0	0	0	
内 備品購入費			0	0	0	
内 図書購入費			0	0	0	
内 施設賠償責任保険	45,000		45,000	57,097	△ 12,097	指定管理総合賠償保険、総合賠償責任保険等
内 職員等研修費	10,000		10,000	9,468	532	受講料等
内 振込手数料	35,000		35,000	18,017	16,983	給与振込手数料、総合振込手数料
内 リース料	180,000		180,000	310,548	△ 130,548	玄関マット、AED、会計システム、プリンター等リース料
内 手数料	4,500		4,500	179,320	△ 174,820	システム使用料、第三者評価手数料
内 地域協力費			0	0	0	
内 公租公課	1,104,300	0	1,104,300	1,320,802	△ 216,502	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税	1,069,300		1,069,300	1,284,134	△ 214,834	
内 印紙税	35,000		35,000	36,668	△ 1,668	
内 その他			0	0	0	
内 その他		550,000	550,000	513,821	36,179	車輛費、保健衛生費、委託費、諸会費、広告費等
事業費	1,168,000	0	1,168,000	362,492	805,508	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,168,000		1,168,000	362,492	805,508	
内 その他			0	0	0	
管理費	4,818,520	271,000	5,089,520	3,679,242	1,410,278	
内 光熱水費	1,450,000	271,000	1,721,000	505,627	1,215,373	電気、ガス、水道料金
内 清掃費	210,000		210,000	520,283	△ 310,283	清掃委託費、一般廃棄物等処理費、植栽管理
内 機械警備費	0		0	0	0	
内 設備保全費	392,500	0	392,500	638,422	△ 245,922	
内 空調衛生設備保守	105,000		105,000	105,055	△ 55	空調保守点検費、グルストラップ清掃費
内 消防設備保守	85,000		85,000	118,427	△ 33,427	消防設備点検費
内 電気設備保守	174,000		174,000	335,386	△ 161,386	エレベーター、自動ドア保守点検費
内 害虫駆除清掃保守	13,500		13,500	16,995	△ 3,495	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	15,000		15,000	62,559	△ 47,559	水質検査、高圧洗浄等
内 共益費			0	0	0	
内 その他	2,766,020		2,766,020	2,014,910	751,110	直営系館内清掃費
修繕費	474,000		474,000	29,195	444,805	予算・指定額
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
内 内 内			0	0	0	
支出合計	22,107,320	1,011,700	23,119,020	16,044,564	7,074,456	
差引	30,000	△ 550,000	△ 520,000	5,316,671	△ 5,836,671	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	33,850	△ 3,850	
自主事業費 支出	1,168,000	0	1,168,000	362,492	805,508	
自主事業 収支	△ 1,138,000	0	△ 1,138,000	△ 328,642	△ 809,358	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「新吉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	32,864,442	441,200	33,105,642	30,385,164	2,720,478	横浜市より
内 受領額	32,864,442	441,200	33,105,642	33,105,642	0	
戻入額				△ 2,720,478	2,720,478	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000	30,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,185,000	72,100	6,257,100	6,257,100	0	横浜市より
内 受領額	6,185,000	72,100	6,257,100	6,257,100	0	
戻入額					0	
自主事業収入【包括】			0	0	0	
自主事業収入【介護予防】	12,600		12,600	12,600	0	特な男の料理教室参加費
自主事業収入【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	39,046,042	513,300	39,559,342	36,838,864	2,720,478	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,925,000	264,200	35,189,200	30,103,612	5,085,588	法人本部経費が含まれています
内 本俸手当	30,110,000	264,200	30,374,200	25,472,255	4,901,945	給与、手当、賞与等
社会保険料	3,700,000		3,700,000	3,816,169	△ 116,169	健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料
健康診断費	45,000		45,000	34,956	10,044	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	30,675	△ 675	ハマフレンド会費
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000	341,651	108,349	
その他	590,000		590,000	407,906	182,094	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,726,200	0	1,726,200	2,250,575	△ 524,375	
旅費	10,000		10,000	3,880	6,120	市内出張交通費
消耗品費	250,000		250,000	160,574	89,426	事務用品、消耗品等
会議旅費	3,000		3,000		3,000	運営協議会費等
印刷製本費			0		0	
通信費	420,000		420,000	452,312	△ 32,312	電話料金、携帯電話料金、FAX、後納郵便
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
戻 入			0		0	
備品購入費			0	262,980	△ 262,980	電動自転車購入費
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000	37,247	△ 12,247	指定管理総合賠償保険、総合賠償責任保険
職員等研修費	60,000		60,000	62,368	△ 2,368	受講料等
振込手数料	30,000		30,000	22,417	7,583	給与振込手数料、総合振込手数料
リース料	120,000		120,000	419,770	△ 299,770	玄関マット、AED、プリンター等リース料
手数料	5,000		5,000	46,200	△ 41,200	講習受講手数料、第三者評価に係わる受審
地域協力費			0	0	0	
公租公課	35,000	0	35,000	13,802	21,198	
事業所税			0		0	
内 消費税			0	13,802	△ 13,802	
戻 入	35,000		35,000		35,000	
その他			0		0	
その他	768,200		768,200	769,025	△ 825	車輻費、保健衛生費、委託費、諸会費、保険
事業費	1,059,000	0	1,059,000	518,078	540,922	
協力医	630,000		630,000	231,000	399,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	90,000		90,000	73,954	16,046	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	156,807	△ 2,807	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000	2,510	27,490	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	155,000		155,000	53,807	101,193	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,197,242	177,000	1,374,242	988,588	385,654	
光熱水費	210,000	177,000	387,000	134,407	252,593	電気、ガス、水道料金
清掃費	320,000		320,000	138,299	181,701	清掃委託費、一般廃棄物及び産業廃棄物処
機械整備費	0		0	0	0	
設備保全費	105,000	0	105,000	169,697	△ 64,697	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	27,925	2,075	空調保守点検費、グルストラップ清掃費
消防設備保守	21,000		21,000	31,477	△ 10,477	消防設備点検費
電気設備保守	45,000		45,000	89,151	△ 44,151	エレベータ、自動ドア保守点検費
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	4,517	483	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	4,000		4,000	16,627	△ 12,627	水質検査、高圧洗浄
共益費			0		0	
その他	562,242		562,242	546,185	16,057	館内清掃員人件費
修繕費	126,000		126,000	7,756	118,244	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	
戻 入			0		0	
支出合計	39,033,442	441,200	39,474,642	33,868,609	5,606,033	
差引	12,600	72,100	84,700	2,970,255	△ 2,885,555	

自主事業費 収入	12,600	0	12,600	12,600	0
自主事業費 支出	429,000	0	429,000	287,078	141,922
自主事業 収支	△ 416,400	0	△ 416,400	△ 274,478	△ 141,922

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	GOGO健康！元気づくり教室	2019年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域の元気高齢者に介護予防やご自身の健康について関心を持って頂き、地域の皆様の健康寿命の延伸を目指す講座。	1：高齢者		週1回4回連続の講座。スローエアロビクを取り入れ、自宅でも気軽にできるストレッチやフットケアなどを紹介。毎回体操講座を行い、1回ずつ口腔・栄養講座を実施。	4	0	41	0
2	あすなろ会館出張講座＆相談会	2018年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	新吉田地域ケアプラザが担当地域エリアの高台に位置しており、交通の便が悪く、高齢の方に来所していただくには厳しい急坂があることやケアプラザの周知が課題としてあった。地域の相談機関としてケアプラザの存在と役割を知っていただく為、地域の会館をお借りして出張講座と相談会を開催することとした。	5：地域	1	年4回第3金曜日10時～12時新吉田あすなろ連合町内会のご協力を得て、あすなろ会館で地域の方向けに出張講座を開催。希望者については個別に講座終了後相談を受けるかたちとした。ケアプラザ職員が地域に出向き、毎回テーマを決めて講座を行う。	3	0	6	0
3	はぐピョン	2004年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	安心して子どもを遊ばせることができる場の提供と保護者の交流・情報交換のための場の提供。また、読み聞かせや保育ボランティア育成のための機会として開催している。	3：養育者及び乳幼児		毎月第2月曜日と第4木曜日の10時～13時にケアプラザの多目的ホールを開放して行なう遊び場。ボランティア等による手遊び、季節のイベントなど開催。	24	0	213	0
4	デイのいわ	2019年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	デイサービスの花壇をお手入れをきっかけに、様々なボランティア活動につながったり、要介護状態の高齢者のことを知っていただき、地域包括ケアを担う人材の発掘と育成をする。	5：地域		月に2回定期的に花の植え替えや世話をを行う。季節の花や野菜など、デイサービスのご利用者様に喜んでもらえるように計画。また、趣味を通して地域の方が交流できる場を提供し、園芸活動以外にも関心を持っていたけよう支援	3	0	4	0
5	だれでもポッチャにつこりな	2025年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子ども、高齢者、障害の有無に関係なく幅広い世代の方がポッチャを通して交流できる場を提供する。	5：地域	1、2、4	インクルーシブスポーツの「ポッチャ」で交流をする。障害児・者と一緒にスポーツを楽しむことで障害の理解を深めることも目的としている。第3木曜日の午後にも多目的ホールを使用して実施。7月から開催	9	0	44	0
6	はつらつ倶楽部	2016年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	近隣の元気高齢者に対し、デイサービスで積み上げたノウハウを活かしながら、健康寿命延伸のための運動プログラムと脳トレプログラムを提供する。	1：高齢者		月に1回、介護保険を使っていない65歳以上の高齢者に集まっていたき、ロコモティブシンドローム予防プログラム、ドリルなどの問題集を取り組んでいただく。バスポイントからの送迎し、弁当をみなで楽しむ。	12	0	110	0
7	さわやかクラブ	2005年	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	高齢者転倒骨折予防体操会を定期開催することによる、介護予防と交流を目的とする。	1：高齢者		新田地区センターにおいて、毎月第1・3月曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操。春は公園に外出して花見をしながら体操を行う。	24	0	697	0
8	新田クラブ	2002年	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	介護予防のミニデイサービスとして開催。手芸や囲碁、将棋、麻雀など趣味活動を通じた仲間づくりを行い、高齢者の閉じこもりを予防する。	1：高齢者		新田地区センターにおいて毎月第1・3水曜日13：30～15：00に開催。メンバー内でボランティアや清掃の協力者がいる。	24	0	305	0
9	さわやか北部体操	2006年	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	新吉田北部町内会の保健活動推進員による転倒骨折予防体操会。	1：高齢者		新吉田北部町内会館において、月2回第2・4金曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操会。事業周知、事業運営のアドバイスなどを行う。	22	0	191	0
10	さわやかクラブ虹	2002年	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	転倒骨折予防体操。ボランティアグループ虹を中心として運営。	1：高齢者		新田地区センターにおいて、月2回第2・4木曜日の10時～11時30分に開催。	22	0	332	0
11	粋な男の健康講座	2014年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	男性向けの講座。フレイル予防のための運動講座をメインに口腔講座、栄養講座も行い、健康寿命延伸とともに男性の地域活動への参加を目指す。	1：高齢者		月1回第3金曜日、全8回の講座。男性向けのストレッチ・筋トレなどの体操講座を毎回行う。1回ずつ栄養・口腔講座を実施。	8	0	75	0
12	医者が教えるピンピンキラリ生活の秘訣	2017年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	健康寿命の延伸を目標に地域の方向けに介護予防の講座を開催。講師はケアプラザ協力医に依頼しており、テーマについては毎年協力医と話し合い決定している。	5：地域		11月15日（土）認知症をテーマに講座を開催。	1	0	10	0
13	Sカフェ	2025年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	若年性認知症の当事者が自らハンドリップコーヒーを淹れお客様に振る舞う事により、認知症当事者やご家族の癒しの場となると同時に、認知症について知ってもらう普及啓発の場を作る。	5：地域		10月5日に当法人が主催で行う「共生まつり」にて、喫茶かれんのスペースにて横浜市長総合保健医療センターと共催で実施。	1	0	100	0
14	おはなし会ワークショップ	2010年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子供向けお話し会を開催するための知識を深め、ケアプラザ事業の「はぐピョン」や地域の中の子育てサロンで活躍できる人材を育てる。	5：地域		3日間の講座で絵本の読み方、わらべ歌、手遊びなどを講師から学ぶ。子育てサロン等で活躍できる人材を発掘する。	5	0	34	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
15	丘の上の音楽会	2011年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	現在、高齢者や子どもなどは、地域ケアプラザに関わっているが、それ以外の年齢層の関わりが少ない。関わりの少ない人達との関わりを増やすことでケアプラザへの関心を高め、今後の関わりを増やすことが目的。	5：地域		年3回開催。各季節ごとを目安に企画。	3	0	198	0
16	体操ボランティア育成講座	2014年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	体操リーダー養成講座として開催。参加者から、ケアプラザ主催の体操会や地域の体操会で活動してくれるボランティアを発掘する。	5：地域		5日間でストレッチや筋トレの講義と実践を行う。グループで体操のプログラムを構成して、参加者の前で披露する。	5	0	38	0
17	心のバリアフリープロジェクト	2023年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	誰もが住み慣れたまちで自分らしく生活できるように同法人4館で障害の理解を深める内容を企画。内容は、勉強会・交流会・映画上映など各館で開催し、普及啓発を地域向けに行う。	2：障害児・者	5：地域	障害の理解を深められる内容を企画。	1	0	12	0
18	認知症サポーター養成講座	2023年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症になって住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症サポーターを一人でも多く増やすため、地域のキャラバンメイトとともに開催し、地域の方へ普及啓発を行う。	5：地域		①新吉田あすなろ地区環境事業推進員との共催②新田中学校1年背対象に開催③新田地区センターを会場に地域の方向けにサポーター養成講座を開催	3	0	306	0
19	共生まつり	1995年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	近隣の方へケアプラザや福祉について啓発するとともに、ケアプラザとかかわりのある活動団体のボランティア実践の場や、趣味活動団体の作品発表の場とする。	5：地域		10月第一日曜日に開催。法人内の施設と共催。	1	0	600	0
20	粋な男の料理教室	2011年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	男性向けの講座。料理を通して自身の健康に興味を持って頂くだけでなく、退職後の元気な男性が地域活動をスタートさせるきっかけとなり、地域活動が活発になることを目的としている。	1：高齢者		コロナ禍のため定員を減らし個々で完結する形で実施。調理するメニューの食材選択の意味(栄養バランス)についてミニ講義を取り入れている。	3	0	17	0
21	LOVEフォトひろば	2025年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいのある子とそのご家族が工作や音楽を通して交流できる居場所事業「LOVEフォトひろば」。ケアプラザは広報や会場設営、当日の運営などで協力。	2：障害児・者		1月24日、2月28日に障がいのあるお子さんとご家族の居場所事業「LOVEフォトひろば」を実施。	2	0	28	0
22	特別なコーヒーの日	2025年	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	スターバックスコーヒージャパン株式会社都筑パーキングエリア上り線店より地域貢献をしたいという相談を受け、地域とのつながりの場を提供し地域貢献を行う足掛かりにしようとする。	5：地域		地域とのつながりの場を提供する第一歩として新吉田地域ケアプラザのデイサービスを提供。デイサービスのおやつの時間に合わせてスターバックスのコーヒーを提供する。	2	0	50	0
23	ポップンsmile	2025年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生向けに障がい児余暇支援事業に開催。対象は個別支援線に通われているお子さん・発達に特性のあるお子さん。保護者も含め参加者同士のつながりを構築するとともにケアプラザや地域活動ホームの周知する。	2：障害児・者		年3回実施。1回目は、7月26日に実施。ポッチャや靴したまいいなどのプチ運動会。今後は11月にクリスマスリース作り、2月にカレー作りを予定。	3	0	16	0
24	お買い物ついでに自分のカラダを知ろう！	2025年	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	日常のお買い物ついでにフレイルチェックが出来る場所を作る事により、健康寿命について意識をしていただくのと同時に、保健福祉の相談窓口として地域ケアプラザがある事を周知する。	5：地域		8月28日にイオンテール株式会社、日本生命保険相互会社、新羽地域ケアプラザと共催して、イオン横浜新吉田店1階エレベーター前スペースにて行う。	1	0	50	0